

2014年

広がる・バプテストの福祉の輪！！

おほえよう、バプテスト福祉デイ！



11月9日は、バプテスト福祉デイです。

- ★ 共に生きる出会いを願い求めて、私たちのバプテストの群が社会福祉の分野で大きな働きをしてきています。重度の知的「障害」児施設や「障害」者の授産施設、あるいは老人ホーム、更には保育園と、まさにゆりかごから墓場までを神の愛を持って見届け支えています。
- ★ 私たちは、このバプテストの群の一人として、この尊い働きを覚え支えて行かねばなりません。
- ★ 11月9日をバプテスト福祉デイとしようとして提案したのは、この小さき群の私たち都城キリスト教会でした。今、全国のバプテストの仲間がこの日を覚え、それぞれが祈りを合わせ行動されています。
- ★ 「一つの部分が苦しめば、すべての部分が苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。」(コリントの信徒への手紙第12章26節)と聖書にあります。最も弱気立場にある福祉の対象となる人々を覚え、祈り、行動をしていくことは、神の御心です。
- ★ 今、「日本バプテスト社会福祉事業団体連絡協議会」には以下の団体が加盟しています。
 - ◆ 相愛会(理事長:高木恵理、宮崎県都城市)
 - ◆ キリスト者奉仕会(理事長:川野直人、福岡県大牟田市)
 - ◆ バプテスト心身障害児(者)を守る会(理事長:山田雄次、福岡県粕屋郡久山町)
 - ◆ 福岡白百合会(理事長:浜中恒雄、福岡県福岡市)
 - ◆ しんもり福祉会(理事長:平松 潤、大阪府大阪市)
 - ◆ バプテストめぐみ会(理事長:上田正紀、京都府京都市)
- ★ 神様、その最も弱い者を愛されました。 私たちもその一人です。 この恵みに感謝し、このバプテスト福祉デイの輪を広げましょう！
- ★ 最後に…詩「足あと」から・・・ マーガレット・F・パワーズ作
「ある夜 わたしは夢を見た。 神様と二人並んで、私は砂浜を歩いていた。 砂の上に二組の足あとが見えていた、一つは神さまの、そして一つは私のだった。 しかし、最後に私が振り返って見た時、ところどころで、足あとが一組しか見えなかった。 私は神さまにお尋ねした。 神さまはささやかれた。「私の愛する子どもよ。 私は決してお前のそばを離れた事はない。 お前が最も苦しんでいた時、砂の上に一組の足あとしかなかったのは、私がお前を抱いていたからなんだよ。」